

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	法学部
大項目	5 学生の受け入れ
中項目	
小項目	5.0.1 学生の受け入れ方針を明示しているか。
要素	求める学生像の明示 当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準の明示 障がいのある学生の受け入れ方針
小項目	5.0.2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。
要素	学生募集方法、入学者選抜方法の適切性 入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性
小項目	5.0.3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。
要素	収容定員に対する在籍学生数比率の適切性 定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応
小項目	5.0.4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 各種入試ごとに学生受入方針(アドミッション・ポリシー)を策定する。	→ 「入試形態と受入方針策定済みの入試形態」	A	A	A		
2. 各種入試の追跡調査・分析を行い、またその一環として学科別入試の追跡調査と分析を行う。	→ 「追跡調査の項目を設定し分析する責任組織の有無」、「追跡調査・分析の進捗状況・結果の報告書」	C	C	B		
3. 追跡調査の結果や教員の負担を考慮して、最適な入学者選抜方法と各募集人員に関する構想を作成する。	→ 「検討組織の有無」、「入試方法・募集定員に関する構想の有無」	D	C	B		
4. 各種入試の追跡調査の結果をふまえて、一般入試による入学者比率の引き下げ目標を設定する。	→ 「学部・学科の志願者・合格者・入学者の推移(大学基礎データ)」、「一般入試・各種入試の適切な入学者比率に関する目標の有無」	D	C	B		

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	指定校・協定校・高等部の各推薦入試以外については、2010年6月以降、入試ガイド『空の翼』や大学ホームページ（法学部サイト）上で、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーとともに、アドミッション・ポリシーを公表済みである。
目標2	これまで、各種入試の制度の見直しに際して、必要に応じて部分的な追跡調査を行ったり、2009年度から実施されている大学による全学部対象の各種入試入学者の追跡調査を利用してきた。2011年度には、2013年度入試（2012年度実施）の指定校推薦入試について、2010年度に引き続き、指定先高校・指定人数の再見直しを行った。今後も、大学の追跡調査結果の分析や法学部独自の追跡調査を行うことによって、随時に利用可能なデータの蓄積をしていくことが必要である。
★ 目標3	2012年度（2011年度実施）入試において、AO入試を見直し、スポーツ選抜入試を導入して、入学者の学力確認のための筆記試験の実施と教員負担の軽減を行った。
目標4	一般入試による入学者比率を段階的に50%（当面は、60%）まで下げるとした2009年度設定の目標について、2010年度入試（2009年度実施）以降、毎年度5%程度の引き下げが実現している。2011年度入試（2010年度実施）において59.9%と、当面の目標60%を達成し、2012年度入試（2011年度実施）には、55.3%となり、比率の引き下げが着実に進捗している。
備考	

《評価指標データ》

（特定項目データ）本項目は数量的なデータによる評価（現状分析）が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【法学部】		単位	2008	2009	2010	2011	2012	備考
指標1	入学定員	名	680	680	680	680	680	
指標2	志願者総数	人	6,297	6,507	5,791	5,182	4,779	
指標3	合格者数	名	2,106	2,146	1,902	1,991	1,950	
指標4	入学者数	名	650	763	654	626	691	
指標5	志願者倍率	倍	9.3	9.6	8.5	7.6	7.0	志願者÷入学定員
指標6	入学定員に対する入学者数比率(5年間平均)	倍	1.01	1.02	1.02	0.99	0.99	入学者数÷入学定員 (小数点第二位以下切捨)
指標7	入学者に占める一般入試入学者の比率	%	64.0%	70.9%	65.7%	59.9%	55.3%	一般入試入学者数÷入学者数 (注)一般入試にセンター入試を含む
指標8	収容定員	名	2,630	2,660	2,690	2,720	2,720	
指標9	在籍学生数	名	2,788	2,932	2,917	2,837	2,916	
指標10	収容定員に対する在籍学生数比率	%	106.0%	110.2%	108.4%	104.3%	107.2%	在籍学生数÷収容定員
指標11	編入学生数	名	(32)	(23)	(25)	(16)	(14)	編入学定員がない学部でも、編入学生がいれば記入する。※その場合は()で記入
指標12	編入学定員	名	—	—	—	—	—	
指標13	編入学定員に対する編入学生数比率	%	—	—	—	—	—	
指標14	学部・学科ごとの退学者数	名	26	54	41			

※指標11…編入学定員を持たない学部の編入学生数は()で記入